

障がい福祉サービス事業所

Excelで回答する場合、選択肢番号はプルダウンから「○」を選択してください。

問1 貴事業所の基本情報をお答えください。（回答欄に記入）

法人・団体名	
事業所名	
代表者名	
記入者名	
提供サービス	(例) 児童発達支援、放課後等デイサービス

問2 現時点で、令和9年度以降、現在実施しているサービスの定員の変更（増やす／減らす）予定がありますか。（1つを選択）

「ある」場合は、以下の回答欄に予定時期等を記入してください。

☐	1. ある
☐	2. ない



①
②
③

定員数変更予定のサービス名		変更予定時期				変更前の定員		変更後の定員	
		令和		年	月		人		人
		令和		年	月		人		人
		令和		年	月		人		人

問3 現時点で、令和9年度以降、新たに実施を予定しているサービスはありますか。（1つを選択）

「ある」場合は、以下の回答欄に予定時期等を記入してください。

☐	1. ある
☐	2. ない



①
②
③

新規実施予定のサービス名		開始予定時期				予定定員		提供場所 (市内/市外)
		令和		年	月		人	
		令和		年	月		人	
		令和		年	月		人	

問4 貴事業所の運営上で、課題や問題を感じることはありますか。（あてはまるすべてを選択）

- ☐ 1. 採用難や離職による慢性的な人員不足
- ☐ 2. 職員の専門性・育成の不足
- ☐ 3. 報酬単価が低く、経営が困難
- ☐ 4. 施設整備、設備等の資金繰りが困難
- ☐ 5. 事務量が増大している
- ☐ 6. 対応時間帯やサービス提供時間の制限
- ☐ 7. サービスの質の維持・向上が困難
- ☐ 8. 新規利用者の受け入れ困難・待機発生
- ☐ 9. その他（具体的に）→
- ☐ 10. 特にない

**問5 貴事業所のサービスの質を向上させるためには、どのような支援が必要だと思いますか。
（主なものを3つまで選択）**

- ☐ 1. 必要な人材の確保・定着支援
- ☐ 2. 職員の研修、職業訓練への支援
- ☐ 3. 財政面の支援
- ☐ 4. ICT活用等による事務負担の軽減支援
- ☐ 5. 事業運営に必要な情報提供
- ☐ 6. 行政や他事業所との情報交換・共有
- ☐ 7. 新規事業所の開設・整備支援
- ☐ 8. 市民の理解を得るための周知・啓発
- ☐ 9. その他（具体的に）→
- ☐ 10. 特にない

問6 貴事業所において、医療的ケアが必要な方への支援を実施していますか。（1つを選択）

- ☐ 1. 実施している → 「問7」へ
- ☐ 2. 現在実施していないが、今後実施予定 → 「問7」へ
- ☐ 3. 現在実施しておらず、今後も実施予定がない → 「問6-1」へ

問6-1 【問6で「3. 現在実施しておらず、今後も実施予定がない」と回答した方】
医療的ケアが必要な方への支援を実施していない理由を教えてください。
（あてはまるすべてを選択）

- ☐ 1. 対象者からの希望がない
- ☐ 2. 専門職員の不足
- ☐ 3. 費用等の問題で研修の受講が困難
- ☐ 4. 設備・機器の不足
- ☐ 5. 事故等のリスクが大きい
- ☐ 6. 夜間対応等の調整が困難
- ☐ 7. 職員の理解が得られない
- ☐ 8. その他（具体的に） →

問7 貴事業所において、強度行動障がい有する方への支援を実施していますか。（1つを選択）

- ☐ 1. 実施している → 「問8」へ
- ☐ 2. 現在実施していないが、今後実施予定 → 「問8」へ
- ☐ 3. 現在実施しておらず、今後も実施予定がない → 「問7-1」へ

問7-1 【問7で「3. 現在実施しておらず、今後も実施予定がない」と回答した方】
強度行動障がい有する方への支援を実施していない理由を教えてください。
（あてはまるすべてを選択）

- ☐ 1. 対象者からの希望がない
- ☐ 2. 専門職員の不足
- ☐ 3. 費用等の問題で研修の受講が困難
- ☐ 4. 個別支援に必要な施設環境整備の不足
- ☐ 5. 必要とする職員配置に見合った人員の確保が困難
- ☐ 6. 職員の理解が得られない
- ☐ 7. その他（具体的に） →

問8 事業の運営をする中で、障がいのある方やその家族からどのような相談を受けることが多いですか。（主なもの3つまで選択）

- ☐ 1. 障がい福祉サービスや制度全般について
- ☐ 2. 発達や療育、保育・幼児教育について
- ☐ 3. 学校生活や就学、進路について
- ☐ 4. 就労や復職について
- ☐ 5. 保健・医療について
- ☐ 6. 人間関係や地域生活について
- ☐ 7. 手当の受給やお金のことについて
- ☐ 8. 家庭や家族について（介護や親なきあとなど）
- ☐ 9. その他（具体的に）→
- ☐ 10. 相談されたことはない

問9 事業の運営をする中で感じる地域の課題として、どのようなことがありますか。（あてはまるすべてを選択）

- ☐ 1. 障がいのある方・子どもへの理解が足りない
- ☐ 2. 障がいのある方・子どもが地域の人と交流する場や機会が少ない
- ☐ 3. 障がいのある方が働くことができる場所が少ない
- ☐ 4. 余暇活動等の場が少ない
- ☐ 5. 合理的配慮※が適切に提供されていない
- ☐ 6. 交通機関や建物が障がいのある方の利用に配慮されていない
- ☐ 7. 災害時の避難対策や避難所の整備が不十分
- ☐ 8. 障がい福祉サービス等の情報提供が不足している
- ☐ 9. その他（具体的に）→
- ☐ 10. わからない

※障がいのある方の人権が障がいのない方と同じように保障されるとともに、教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障がい特性や困りごとに合わせて行われる配慮のことです。

（例）読み書きに困難がある子の場合、拡大教科書やタブレット、音声読み上げソフトを利用して勉強できるようにするなど。

問10 事業の運営をする中で、地域における障がいのある方に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じることはありますか。（1つを選択）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. よくある | → 「問10-1」 へ |
| 2. ときどきある | → 「問10-1」 へ |
| 3. ほとんどない | → 「問11」 へ |
| 4. まったくない | → 「問11」 へ |
| 5. わからない | → 「問11」 へ |

問10-1 【問10で「1. よくある」「2. ときどきある」と回答された方】
具体的な場所や内容等をご記入ください。（回答欄に記入）

回答欄	
-----	--

問11 地域の理解を深めるために、何が必要だと思いますか。（主なものを3つまで選択）

- | |
|-----------------------|
| 1. 学校における福祉教育や人権教育の充実 |
| 2. インクルーシブ教育・保育の拡充 |
| 3. 地域の人との交流イベントの開催 |
| 4. 障がいに関する講演会や学習会の開催 |
| 5. 企業の積極的な福祉活動への参加 |
| 6. 広報誌等での情報発信 |
| 7. 障がいのある方の積極的な社会進出 |
| 8. その他 （具体的に） → |
| 9. わからない |

--

問12 障がい福祉サービスについて、現在広陵町において不足していると思うサービスを3つまでお選びいただき、不足していると感じる理由や確保に向けたアイデア等がありましたらご記入ください。

(主なもの3つまでを選択し、回答欄に記入)

【選択肢】

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 居宅介護（ホームヘルプ） | 18. 地域定着支援 |
| 2. 重度訪問介護 | 19. 自立生活援助 |
| 3. 同行援護 | 20. 施設入所支援 |
| 4. 行動援護 | 21. 移動支援 |
| 5. 重度障がい者等包括支援 | 22. 日常生活用具等給付 |
| 7. 生活介護 | 23. 日中一時支援 |
| 8. 自立訓練（機能訓練・生活訓練） | 24. 地域活動支援センター |
| 9. 就労選択支援 | 25. 手話通訳・要約筆記者派遣 |
| 10. 就労移行支援 | 26. 計画相談支援 |
| 11. 就労継続支援 A型 | 27. 障がい児相談支援 |
| 12. 就労継続支援 B型 | 28. 児童発達支援 |
| 13. 就労定着支援 | 29. 放課後等デイサービス |
| 14. 療養介護 | 30. 保育所等訪問支援 |
| 15. 短期入所（ショートステイ） | 31. 居宅訪問型児童発達支援 |
| 16. 共同生活援助（グループホーム） | 32. 医療型児童発達支援 |
| 17. 地域移行支援 | |

番号（記入）	不足していると感じる理由、確保に向けたアイデアなど（自由記述）

問13 利用者（当事者・ご家族）のなかで、相談支援事業所（計画相談支援・障がい児相談支援）に依頼できず、やむを得ずご本人やご家族で障がい福祉サービス等利用計画を作成している方（のぞまないセルフプランの方）はいらっしゃいますか。

（1つを選択）

- | | | |
|--------------------------|------------|-----------|
| ☐ | 1. 多くいる | ➡「問13-1」へ |
| ☐ | 2. ある程度いる | ➡「問13-1」へ |
| ☐ | 3. あまりいない | ➡「問14」へ |
| ☐ | 4. ほとんどいない | ➡「問14」へ |
| ☐ | 5. わからない | ➡「問14」へ |

問13-1 【問13で「1. 多くいる」「2. ある程度いる」と回答された方】

主な原因として、貴事業所が把握しているものをすべて選んでください。

(あてはまるすべてを選択)

- ☐ 1. 相談支援事業所の不足
- ☐ 2. 特定の障がい特性（医療的ケア児、強度行動障がい等）に対応できる事業所の不足
- ☐ 3. 事業所の定員超過等による新規受け入れ困難
- ☐ 4. 相談支援専門員の不足
- ☐ 5. 本人や家族が制度内容を十分理解できていない
- ☐ 6. 相談支援につながるまでの情報提供・周知が不足している
- ☐ 7. 手続きや調整に時間がかかる
- ☐ 8. その他（具体的に）→
- ☐ 9. わからない

問14 「のぞまないセルフプラン」をなくすためには、どのような取組が必要だと思いますか。

(主なものを3つまで選択)

- ☐ 1. 相談支援事業所への運営支援の充実
- ☐ 2. 相談支援専門員の確保・育成
- ☐ 3. 特定の障がい特性（医療的ケア児、強度行動障がい等）に対応できる専門員の育成
- ☐ 4. 相談支援専門員の負担軽減のための支援
- ☐ 5. 相談支援事業所と関係機関・団体との連携強化
- ☐ 6. 本人や家族向けの制度説明、相談支援体制の充実
- ☐ 7. 本人や家族同士がつながる場づくり
- ☐ 8. 相談支援につながるための情報提供・周知
- ☐ 9. その他（具体的に）→
- ☐ 10. わからない

問15 障がいのある方が、地域で安全・安心に暮らしていくために、現在不足していることや課題、必要だと思うことはありますか。（主なものを3つまで選択）

- ☐ 1. 地域での見守り体制
- ☐ 2. 緊急時の相談・支援体制
- ☐ 3. 災害発生時の避難支援・避難所での配慮
- ☐ 4. 特性に応じた情報提供・意思疎通支援
- ☐ 5. 強度行動障がい者や医療的ケア児等への支援体制
- ☐ 6. 権利擁護や虐待防止の取組
- ☐ 7. 施設・事業所の防災対策や安全対策
- ☐ 8. 防災部局や医療・関係機関との連携
- ☐ 9. その他（具体的に）→
- ☐ 10. 特にない

問16 広陵町が障がいのある方にとって暮らしやすいまちになるため、重点的に取り組むべき分野を3つまでお選びいただき、取組を進めていくために必要なことをご記入ください。
(主なもの3つまでを選択し、回答欄に記入)

【選択肢】

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 障がいや障がいのある方に関する理解促進・啓発 | |
| 2. 障がい福祉サービス等の情報提供の充実 | 9. 労働・雇用の支援 |
| 3. 権利擁護・虐待防止の推進 | 10. 社会参加や交流の場の充実 |
| 4. 総合的な相談体制の充実 | 11. 在宅生活の支援・住まいの場の確保 |
| 5. 手当や助成金など経済的支援の充実 | 12. 道路や建物などのバリアフリー化 |
| 6. 障がい福祉サービスの充実 | 13. 移動・交通支援の充実 |
| 7. こどもの特性にあった教育・保育・学習支援 | 14. 災害時等の安全・安心対策の強化 |
| 8. 保健・医療サービスの充実 | 15. その他 |

番号（記入）	取組を進めていくために必要なこと（自由記述）